

印西市国際化推進方針に基づく主な取り組みの実績及び評価

(平成24年度～27年度)

1. 庁内体制の充実

ア. 職員研修

年度	実施日	研修内容	参加者数
24	平成25年 3月5日	外国人との共生社会づくりに関する研修会 ① 基本的な考え方や施策について ② 印西市に住んで思うこと・感じること 講師：市職員、在住外国人（中国・韓国・ベルギー出身）	27人
25	平成25年 11月19日	外国人との共生社会づくりに関する研修会 「やさしい日本語」について 講師：財団法人自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー（横須賀市国際交流課長）松本義弘氏	46人
26	平成26年 11月11日	外国人との共生社会づくりに関する研修会 「やさしい日本語」について 講師：財団法人自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー（横須賀市衣笠行政センター館長）松本義弘氏	41人
27	平成28年 1月26日	多文化共生社会づくりに関する職員研修会 内容：検討中 講師：多文化共生マネージャー全国協議会 理事 柴垣禎（しばがき ただし）氏	50人 (予定)

《評価》

参加者の感想では、『相手の立場に立つことが必要』、『日々の業務に役立てたい』等の意見をいただいております、個人個人の意識啓発に繋がっていると思われる。

ただ、研修は一年に一回のため、参加できる人数が限られていることが課題である。

2. 市民団体や関係機関などとの連携及び協力体制の整備

ア. 印西市国際交流協会との連携協力体制

○市補助金（平成13年度～） 限度額 50万円

○補助対象事業：広報事業、在住外国人支援事業、在住外国人交流事業、国際理解事業、国際交流事業、国際交流関係団体との連携及び協力に関する事業

イ. 千葉県国際交流センターとの連携

○出前講座の活用（外国人市民を講師に異文化理解講座）

○外国人相談担当者意見交換会やその他会議などに参加

ウ. 国際化推進懇談会の運営（平成 24 年度～）

年度	開催日	会議内容	出席委員
24	平成 24 年 10 月 1 日	印西市国際化推進方針の概要説明 実施事業について	11 人
	平成 24 年 12 月 18 日	今年度実施事業と来年度実施予定事業など	10 人
25	平成 25 年 5 月 28 日	前年度事業報告と今年度実施予定事業など	10 人
	平成 25 年 10 月 15 日	上半期事業実施状況、外国人市民意識調査（案）	8 人
26	平成 26 年 5 月 15 日	前年度事業報告と今年度実施予定事業	6 人
	平成 27 年 3 月 11 日	印西市国際化推進方針の概要説明 今年度実施事業の経過、外国人市民意識調査の結果概要	9 人
27	平成 27 年 7 月 31 日	前年度事業報告と今年度実施予定事業 印西市国際化推進方針の改定に向けて	9 人

《評価》

国際交流協会については、日本語教室の開催や、外国人市民を対象にしたイベントの開催など、国際交流のあらゆる場面で対応し、ニーズにあった取り組みをしており、市の国際化の一翼を担っている。

千葉県国際交流センターには、異文化理解講座の講師を依頼し、多様な国の出身者を紹介してもらい、参加者からも好評だった。当市のみでは対応できない国もあり、今後も国際交流センターとの連携は必要と考える。

国際化推進懇談会では、国際交流の推進のため、貴重な意見を委員の方々からいただき、市の国際化推進の参考となった。

3. 海外との交流の検討・推進

ア. 市とダルビン市（オーストラリア）との交流

平成 23 年 8 月に友好都市検討のため視察

両市の認識・期待するものの相違、ダルビン市長の交代などを経て断念。

イ. 印西中学校（平成 3 年～）、小林中学校（平成 10 年～）の姉妹校交流（オーストラリア）

《評価》

当市では、姉妹都市、友好都市を提携していないが、市内の印西中学校、小林中学校における姉妹校交流を支援しており、英語学習に対する意欲と実践的な英語コミュニケーション能力の向上に繋がっている。

4. 行政サービスの充実

ア. 行政資料の多言語

- 本庁と駅前公民館に外国人向け情報コーナーを設置（平成 24 年～）
- 資源物とゴミの分け方・出し方を配布（平成 24・26 年度作成）
- 市広報紙（1 日号）に「外国人のみなさんへ」掲載（平成 25 年 1 月～）
- 市広報紙（1 日号・抜粋）英語版作成（平成 25 年 8 月～）
- 市ホームページの多言語（英語・中国語・韓国語）配信（平成 25 年 10 月～）
- 防災ブックを 4ヶ国語（日本語・英語・中国語・韓国語）併記で作成
(平成 26 年 11 月)

- 市勢要覧に英語表記追加（平成 27 年 3 月発行）

イ. 外国人市民意識調査（平成 26 年 8 月調査）

ウ. 外国人のための無料相談（国際交流協会と共催事業）

{	平成 24 年度： 4 件	（平成 27 年 11 月末現在）
	平成 25 年度： 1 件	
	平成 26 年度： 7 件（6 人）	
	平成 27 年度： 3 件	

エ. 外国語版母子手帳の発行

{	平成 25 年度：英語 2 冊、中国語 1 冊
	平成 26 年度：スペイン語 1 冊、英語 1 冊
	平成 27 年度：英語 2 冊、中国語 1 冊、ポルトガル語 2 冊 (平成 27 年 11 月末現在)

《評価》

年々増加する外国人市民に対応するため、行政資料の多言語、やさしい日本語等の標記や、外国人のための無料相談を行い、外国市民が生活する上で困ったことがないように努めることができた。

5. 地域への参加の促進

ア. 外国人市民との交流事業

- 外国人市民を対象にイベント（バスツアー・フレンドシップカフェ等）を実施

●バスツアー（国際交流協会と共催事業）

{	平成 24 年度：千葉県西部防災センター（松戸市） 30 人
	平成 25 年度：牧の原消防署、北総鉄道車両基地 29 人
	平成 26 年度：日本医科大学北総病院、クリーンセンター 21 人
	平成 27 年度：1～3 月の間に開催予定

●フレンドシップカフェ（平成 27 年 1 月～）（国際交流協会主催）

{	平成 26 年度：6 回 87 人
	平成 27 年度：12 回 110 人（平成 27 年 9 月末現在）

- ジャパン・デー（国際交流協会主催）
平成 27 年 9 月：約 100 名
- 弓道体験教室（国際交流協会主催）
平成 27 年 11 月：24 名
- 七夕と川めぐり（国際交流協会主催）
平成 25 年 7 月：24 名

イ. 日本語教室（国際交流協会主催）

{	平成 24 年度：火曜・水曜・土曜（2）クラス	43 人
	平成 25 年度：火曜・水曜・木曜・土曜（2）クラス	47 人
	平成 26 年度：	58 人
	平成 27 年度：	45 人

（平成 27 年 9 月末現在）

《評価》

外国人市民が孤立しない様に、バスツアーなどのイベントや、話を聞いてあげる場所を提供し、地域参加を促し、一定の成果があったものと考えている。

6. 学校における国際理解教育の充実

ア. 幼稚園・小中学校異文化交流

{	平成 24 年度：7 校	749 人
	平成 25 年度：4 校	548 人
	平成 26 年度：5 校	431 人
	平成 27 年度：1 校	93 人（平成 27 年 9 月末現在）
	※2 校	202 人（平成 28 年 2 月実施予定）

イ. 市立保育園外国人講師と交流

{	平成 24 年度：7 園	1~6 回	各 15~113 人
	平成 25 年度：6 園	1~6 回	各 13~104 人
	平成 26 年度：4 園	6 回	各 72 人
	平成 27 年度：7 園	1、2 回	各 10~25 人（平成 27 年 11 月末現在）

※7 園 2~4 回 各 10~25 人（平成 27 年 12 月末~予定）

ウ. 外国語指導講師の設置

各中学校区に 1 名ずつ外国人英語講師（ALT）を配置

{	平成 24~26 年度：各 10 名
	平成 27 年度：11 名

《評価》

幼稚園・小中学校及び、市立保育園に外国人講師等とふれあうことにより、幼児期からの国際理解教育ができた。

7. 地域における多文化共生意識の啓発

ア. 一般市民向け異文化理解講座開催

}	平成 24 年度：9 回	196 人
	平成 25 年度：7 回	97 人
	平成 26 年度：6 回	105 人
	平成 27 年度：5 回	59 人

《評価》

27 年度の実績では参加者はリピーターが多く、参加した人には好評であった。

しかしながら年々参加者が減少しており、新たな参加者の発掘を行うためにもより一層 P R 等に努めていきたい。もっと周知ができれば、この事業はいろいろな国に触れ合うことができ多文化共生を進める上での良い機会であると考えている。